

地域の口腔がんを考えるシンポジウム 2018.12.2

香川の口腔がんの実態

—当科での口腔がんの治療—

香川大学医学部歯科口腔外科学

三宅 実



今日のお話

- 1) 自己紹介・医局紹介
- 2) 当科での口腔がん実態および症例供覧
- 3) 香川県での口腔がん検診・がん連携拠点病院

Conflict of Interest の開示

発表者 三宅 実

本講演に関連し、開示すべきCOI関係
にある企業などはありません。

自己紹介

- 1962年 香川県観音寺市生まれ。観音寺一高出身。
1987年 広島大学歯学部卒業
1991年 香川医科大学大学院修了
1996年 Dartmouth Medical School, NH, USA,
Research Associate (1999年3月まで)
2000年 香川医科大学歯科口腔外科学講座・講師
2002年 香川医科大学歯科口腔外科学講座・助教授
2005年 New Mexico University, NM, USA, EPR Center,
Clinical Associate Professor, School of Pharmacy
2007年 香川大学医学部歯科口腔外科学講座・准教授
2015年 香川大学医学部歯科口腔外科学講座・教 授

専門医等：日本口腔外科学会専門医・指導医、日本口腔科学会認定医・指導
医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医(歯科口腔外科)、小児口腔外
科学会認定医・指導医、障害者歯科認定医、日本口腔インプラント学会暫定指
導医、日本歯科薬物療法学会認定医、日本外傷歯学会認定医等

趣味：釣り（チヌ掛かり釣り）、草野球、日帰り温泉巡り、
テニス、写真、etc.,

当科スタッフ

	2018年12月現在
教 授(診療科長)	1
准教授	1
学内講師	1
助教	2
医員 (麻醉科研修中1名)	4
大学院生 (うち留学生1名)	7
研修医	2
外来看護師	2
歯科衛生士	3
歯科技工士	1

初期がん



進行がん

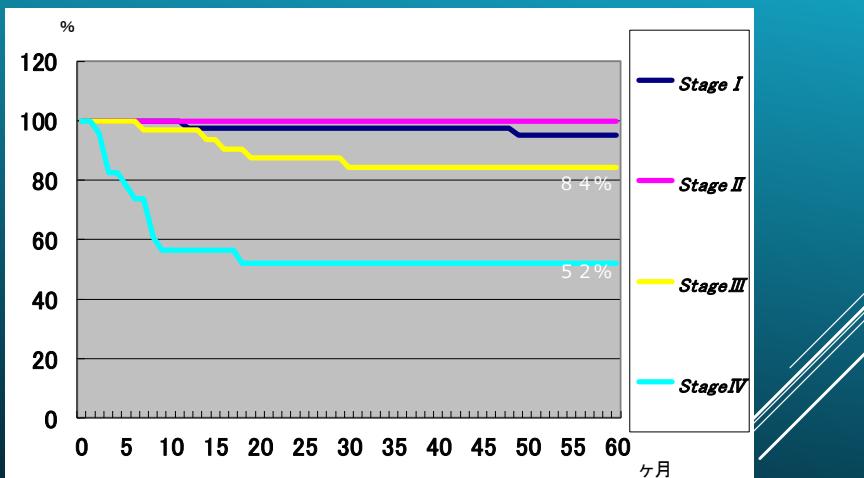


治療内容

検査を兼ねた全切除
(外来通院数回)

放射線+抗がん剤+手術+リハビリ
(入院期間: 数ヶ月)

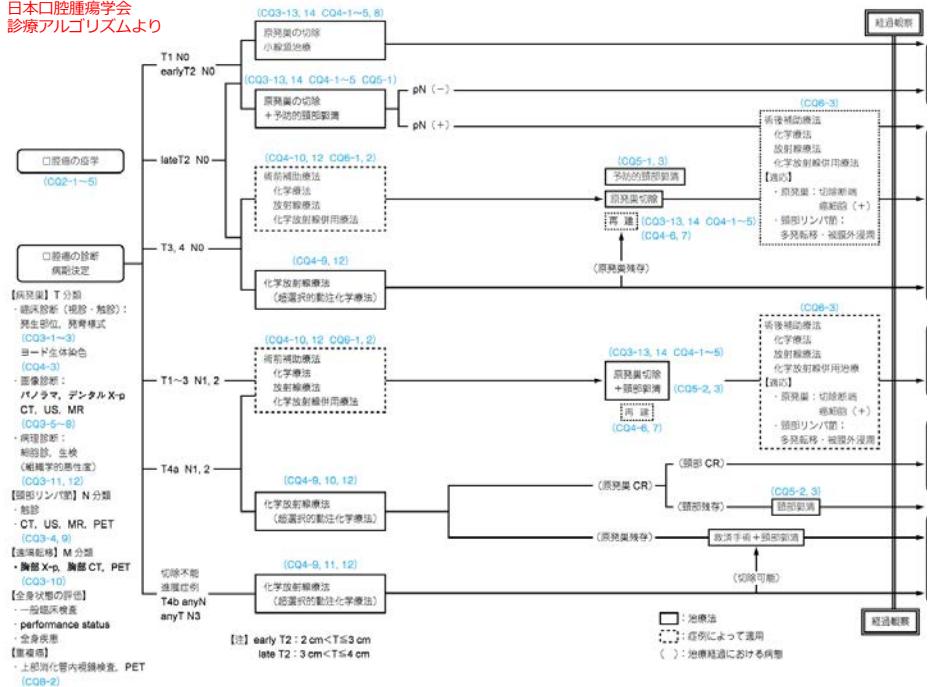
口腔がんの病期別 5年生存率



早期発見・早期治療に優る治療法なし

香川大学医学部歯科口腔外科学
での口腔がんの実態

日本口腔腫瘍学会
診療アルゴリズムより



2010年1月～2014年5月の4年5か月間に当科を受診した口腔がん一次症例は65例であった。

他院での治療を希望された1例

高齢（89歳）、認知症を理由に治療を希望されなかった1例

他部位に進行癌（進行食道癌）があり、その治療を優先して当科での治療に至らなかった1例

高齢（97歳）、寝たきりで治療を希望されなかった1例

計61例に対して一次治療を施行した。

家族の希望により姑息的治療（外来での経口抗腫瘍薬による化学療法）を施行した1例

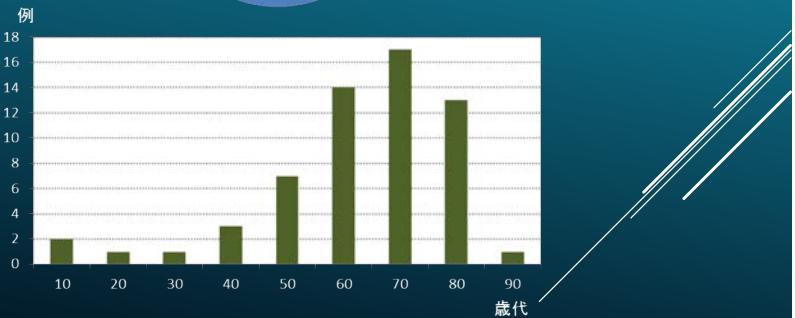
患者の強い希望により根治的治療が行えず、その後、他院での治療を希望された1例

計59例に対しては根治的治療が計画され実施された。

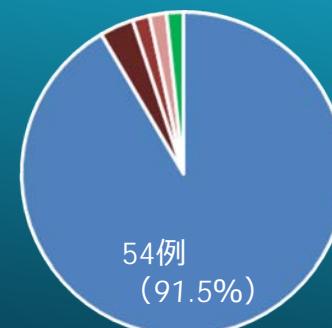
男女比・年齢分布



年齢分布：11~96歳
中央値：71歳

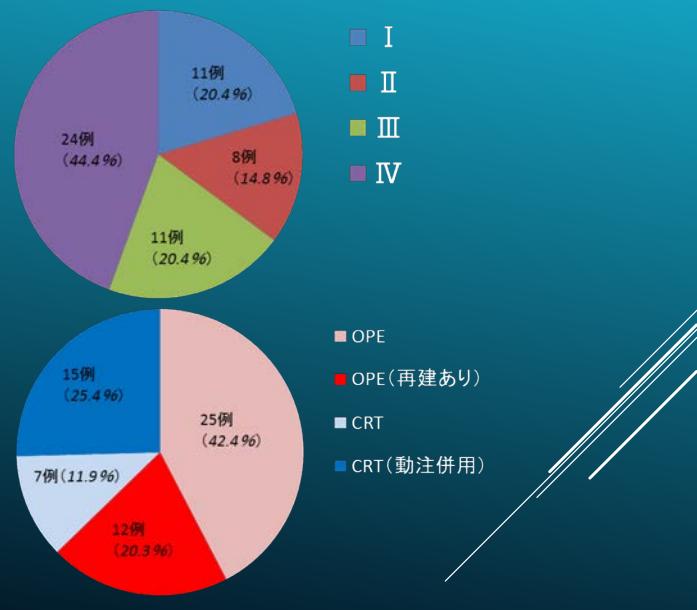


組織型

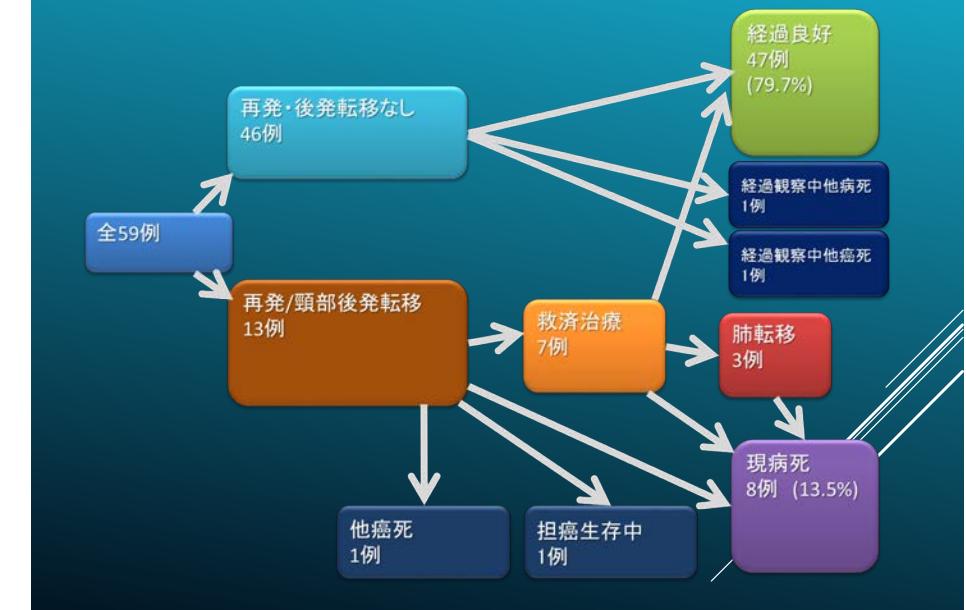


口腔がんのほとんどは扁平上皮がんです！

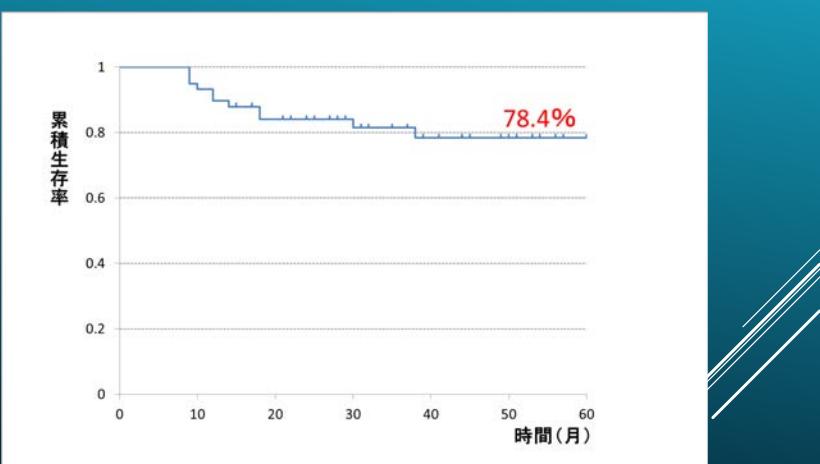
STAGE & 原発巣に対する治療



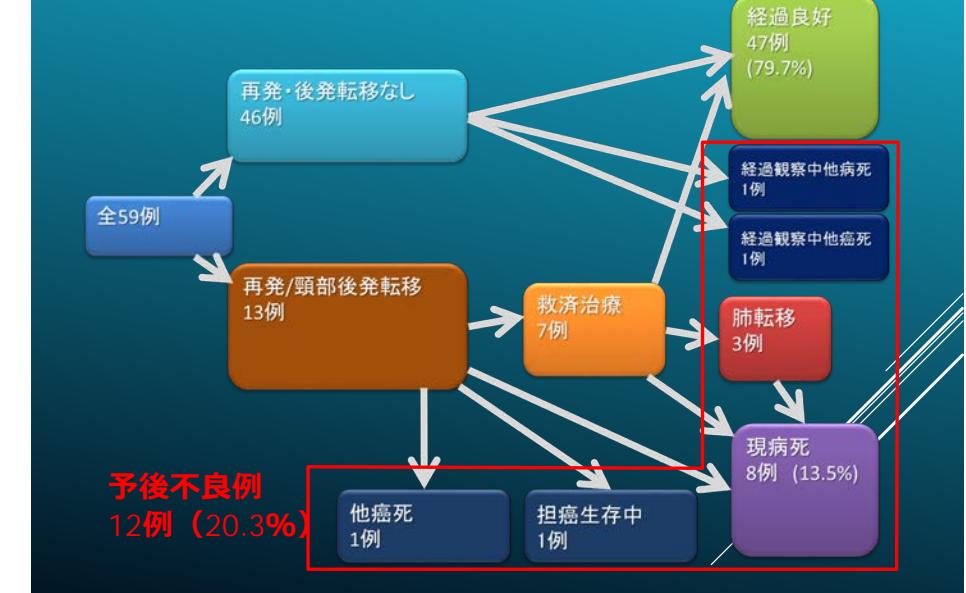
転 帰



KAPLAN-MEIER法による生存率曲線 (OS)



転 帰



予後不良症例①_肺転移

76歳 女性



#下顎歯肉癌

(SCC, cT4N0M0) 2012/08 7-拔歯、
搔爬 → SCC

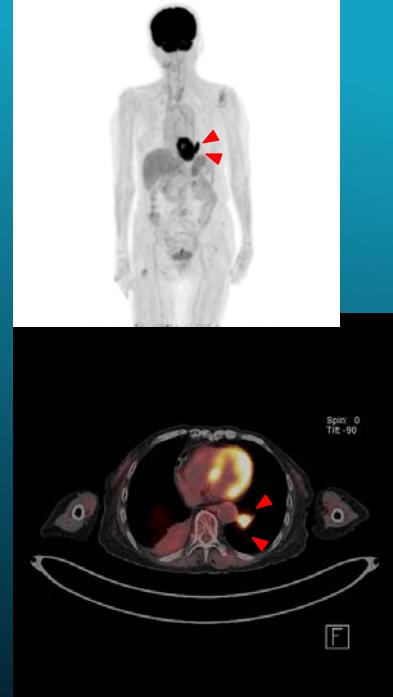
既往：肺癌、RA、慢 2012/09 右下顎区域
性腎不全、ア 切除、プレート再
ミロイドーシ 建、右側選択的頸部
ス、下肢静脈 郭清
血栓症



2013/09 左肺転移

2013/11 左肺転移に対して切除術
2013/12 多発肺転移、皮膚転移、
骨転移

2014/03 永眠



肺転移のハイリスク症例の 選別と術後治療

予後不良症例②_同時性重複癌

65歳 男性



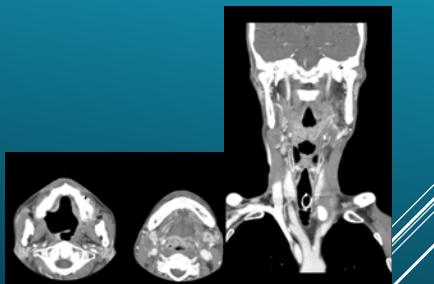
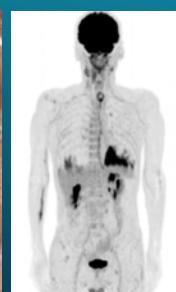
- # 1 上顎癌 (cT4N2cM0) 扁平上皮癌
- # 2 早期胃癌 腺癌
- # 3 食道癌 扁平上皮癌

2011/04 ~ 06 TPF療法併用放射線療法

RTx →

DOC ↑
CDDP ↑
5-FU ↑↑↑↑↑↑

DOC: Docetaxel 50mg/m², CDDP: Cisplatin 60mg/m², 5-FU 600mg/m²
RTx: 2Gy/fr/day 5fr/week total 70Gy

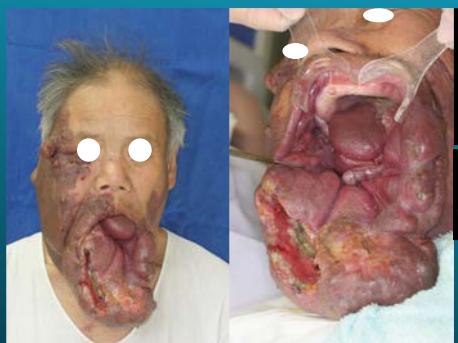


- 2011/07 腫瘍切除、両側頸部郭清術
- 2011/07 胃癌に対してESD施行
- 2011/08 食道癌のOPEを拒否
- 2014/04 全身倦怠感・食欲不振を訴え来院
食道癌再発、癌性腹膜炎、腹水貯留確認
- 2014/05 癌性腹膜炎にて永眠

治療の長期化と患者のモチベーション・チーム医療

予後不良症例③_治療中断 (4/59例)

76歳 男性

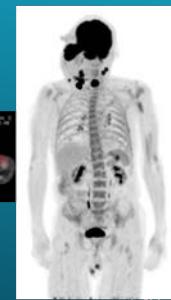


1 先天性血管腫上の下口唇癌
(扁平上皮癌、cT4aN2cM0)

2 胃癌 (腺癌、cTxN0M0)

化学療法併用放射線療法
(PF療法:CDDP 70mg/m²-5-FU
700mg/m²)
(RTx total 70Gy)

↓
下口唇癌CRとなれば、胃癌手術



2013/08~09
化学放射線療法
(全頸部20Gy、FP1コース)

敗血症にて治療休止

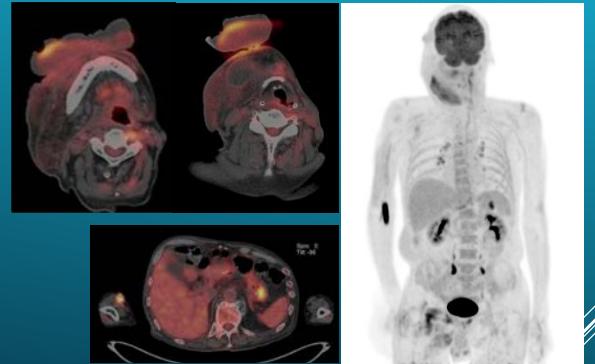
2013/10~11
化学放射線療法
(下口唇38Gy、S-1併用)

2013/11
下口唇出血に対して塞栓術

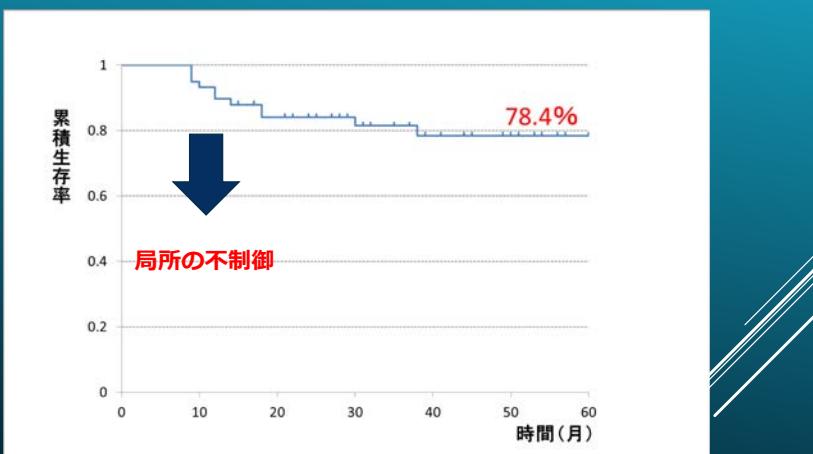
2013/12
胃癌の治療を拒否

2014/04
局所再発確認

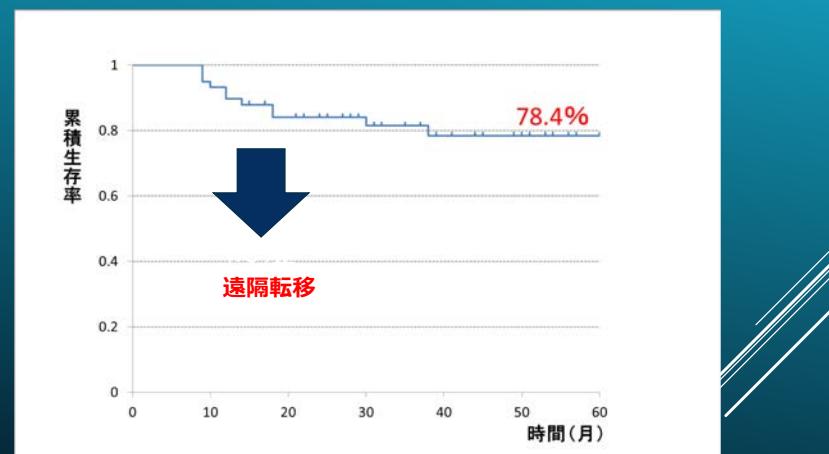
2014/05
胃癌によるがん性腹膜炎にて
永眠



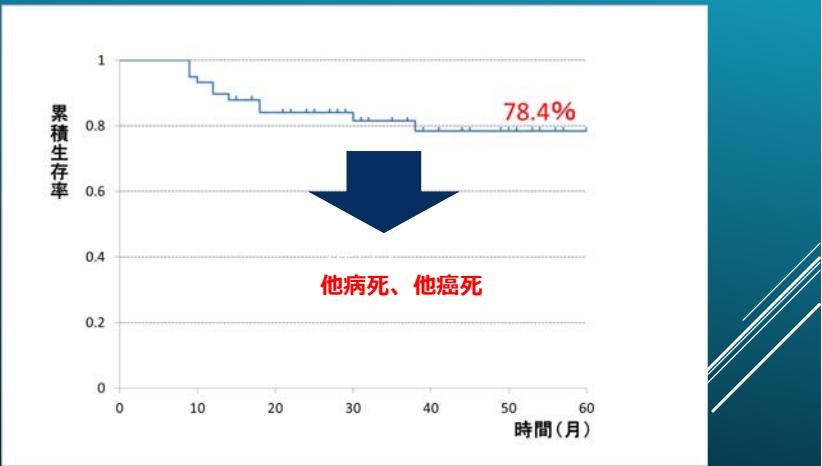
KAPLAN-MEIER法による生存率曲線 (OS)



KAPLAN-MEIER法による生存率曲線 (OS)



KAPLAN-MEIER法による生存率曲線（OS）



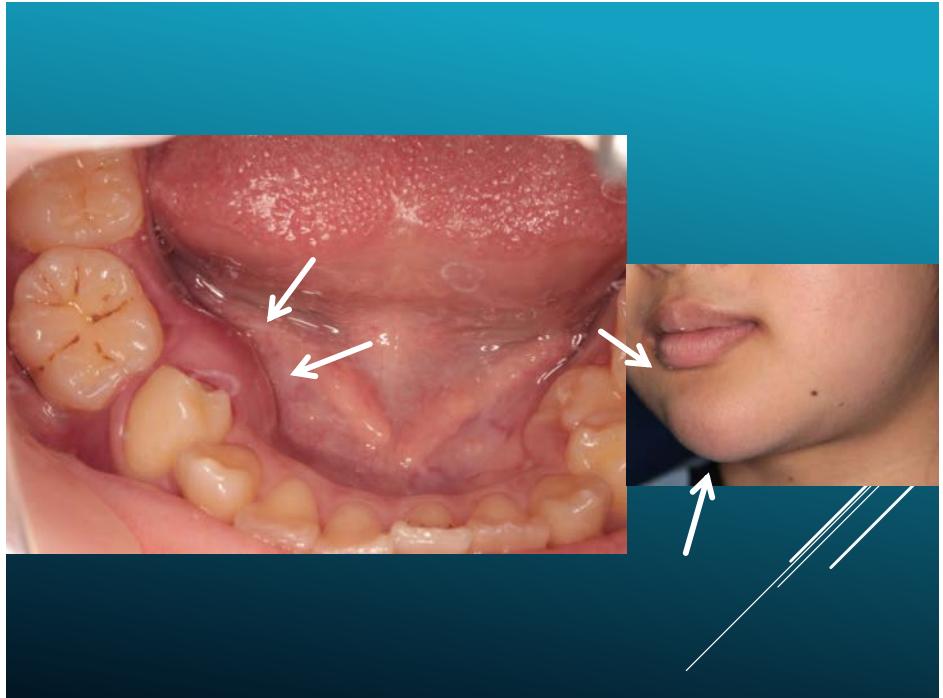
最近の症例のご紹介

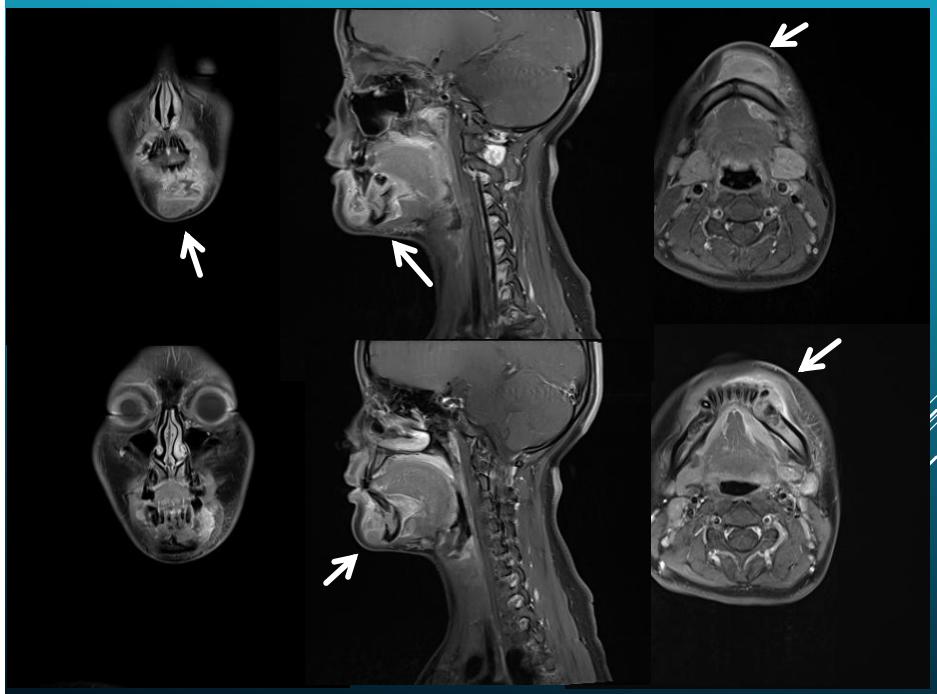
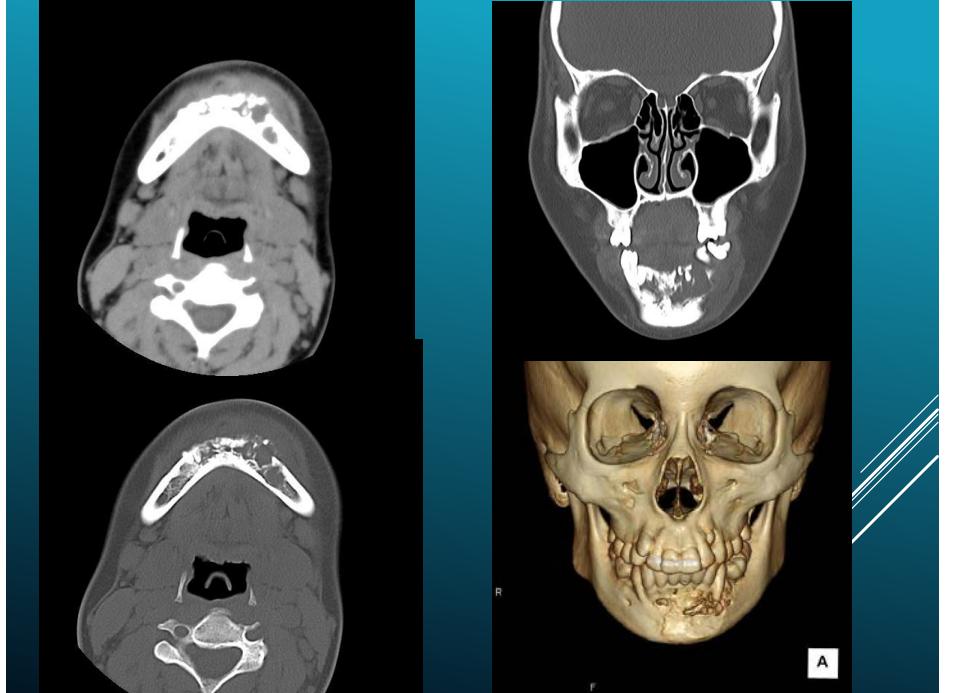
ユーイング肉腫症例

- ▶ 14歳 女児
- ▶ 主訴 左下顎歯肉の知覚鈍麻と疼痛
- ▶ 現病歴

2018年1月中旬より左下歯肉の腫脹と知覚鈍麻、疼痛を自覚した。2月初旬よりオトガイ部の腫脹を伴い急激に増大を認めたため、近在歯科医院を受診した。精査加療目的に当科を紹介され受診した。

- ▶ 既往歴 2017年10月卵巣囊腫摘出術

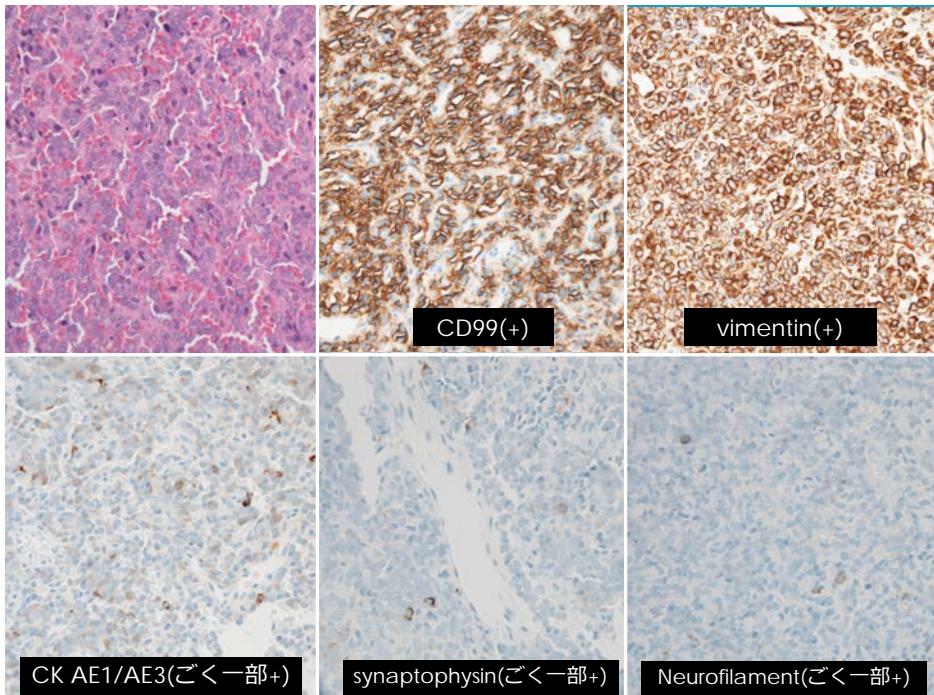




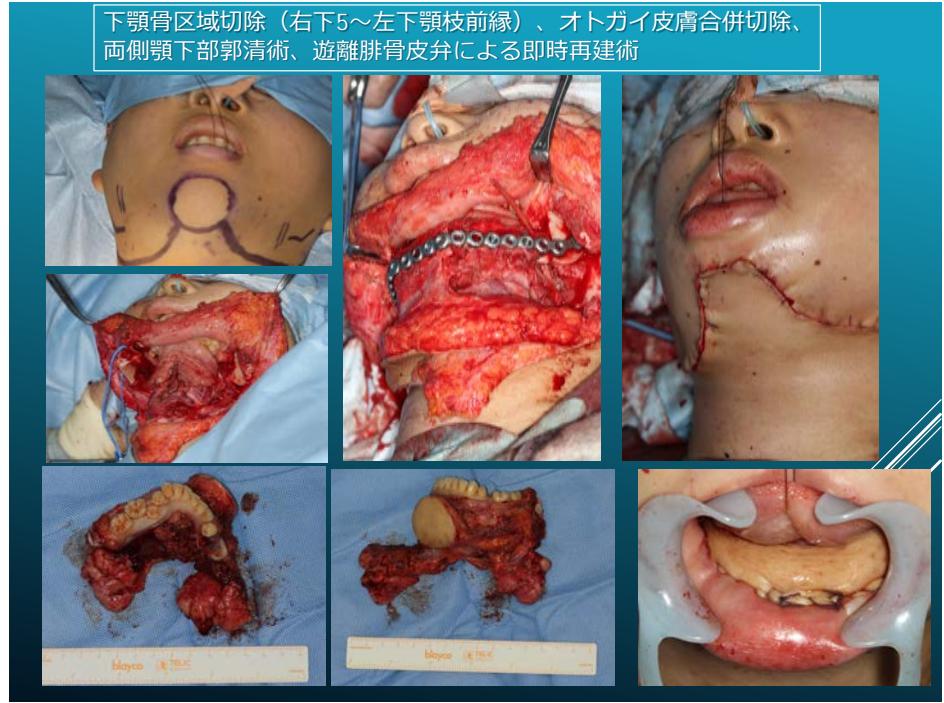
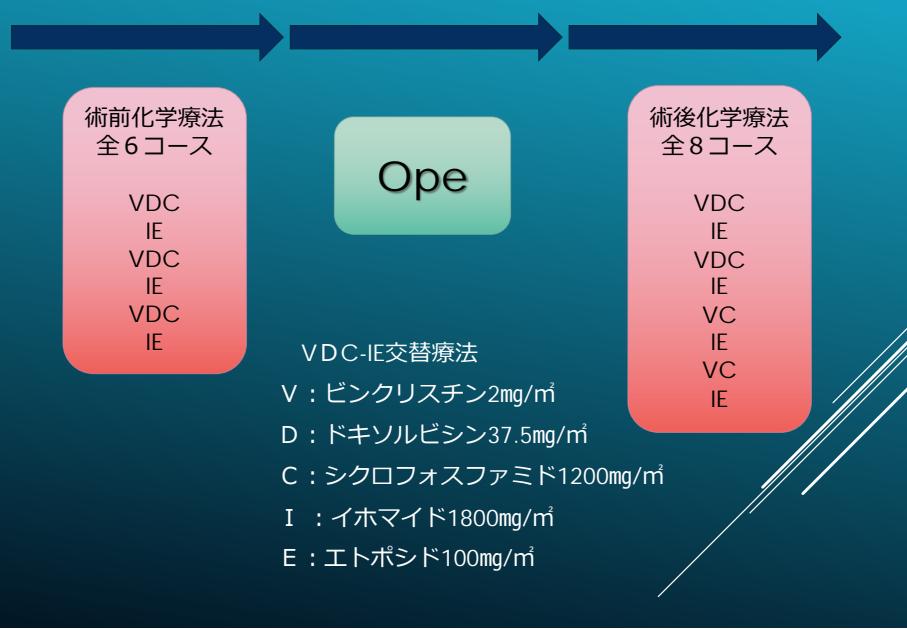
組織生検（2回施行）
▶ Malignant tumor (Ewing sarcomaを最も疑う)
↓
RT-PCRにてキメラ遺伝子検出し、確定診断に至る
(t(11;22)(q24;q12)による融合遺伝子形成)

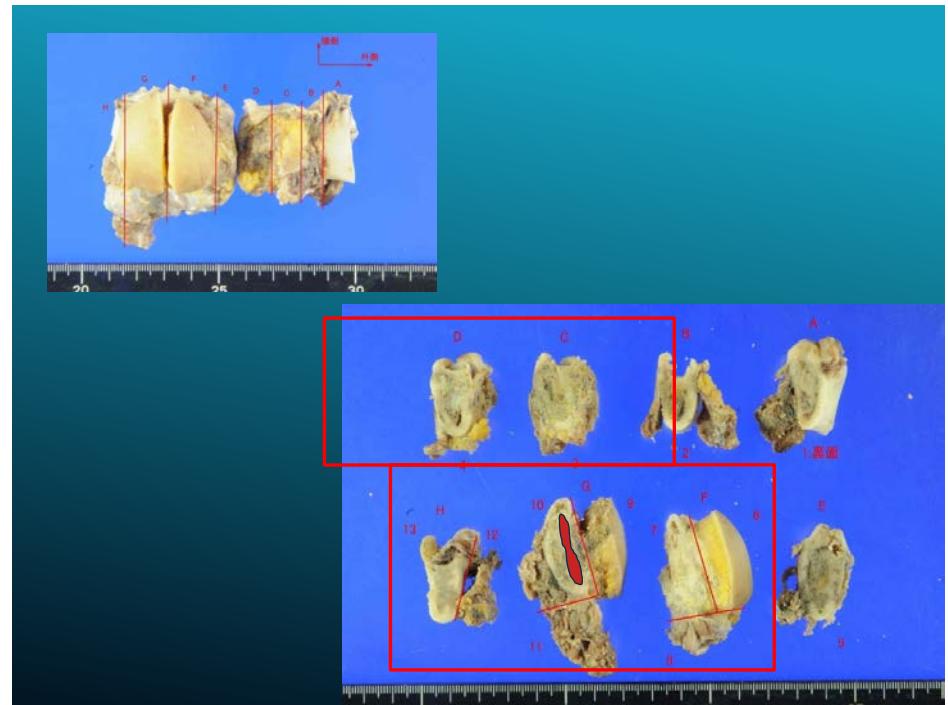


(国立成育医療研究センター病理中央診断による)

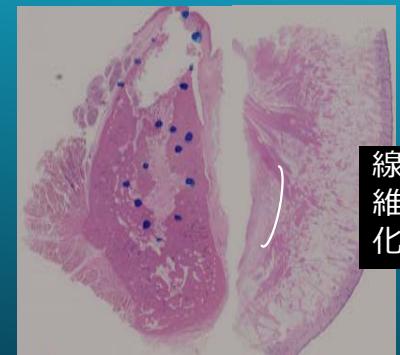
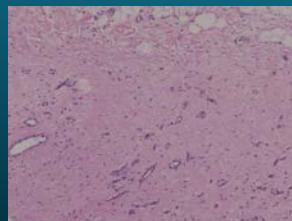
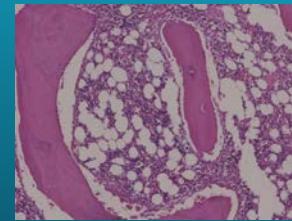


治療方針





病理組織検査結果：Ewing肉腫



線
維
化

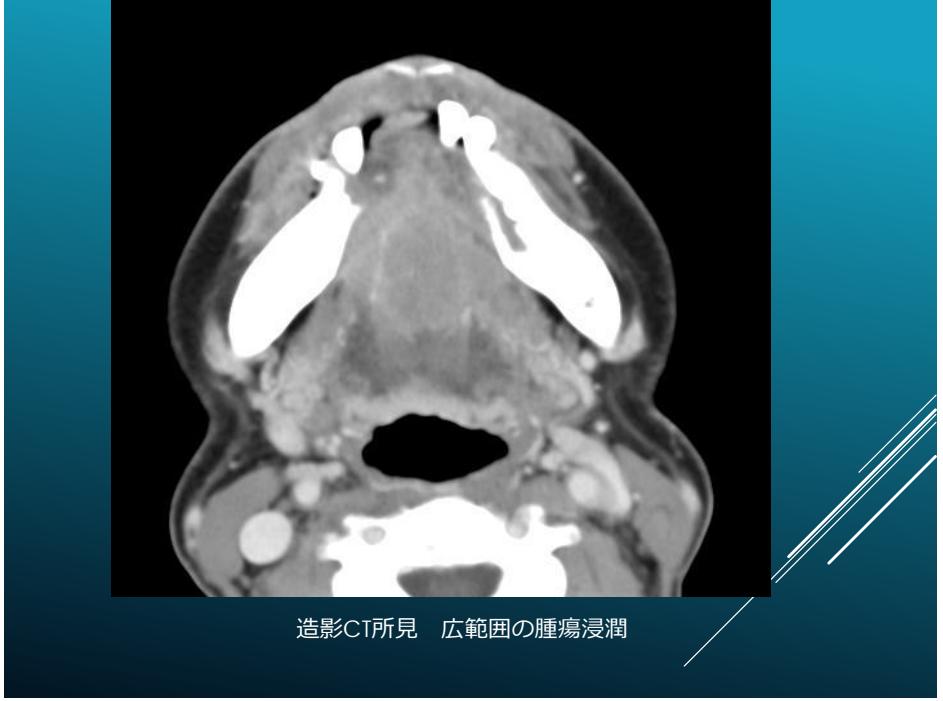
- ▶ 化学療法により腫瘍の大部分が壊死に陥り線維化しており、腫瘍細胞は一部歯肉粘膜に及んでいた。
- ▶ 切片中の腫瘍細胞は少数だが、viableと考えられ、組織学的治療効果判定はGrade 3に相当。



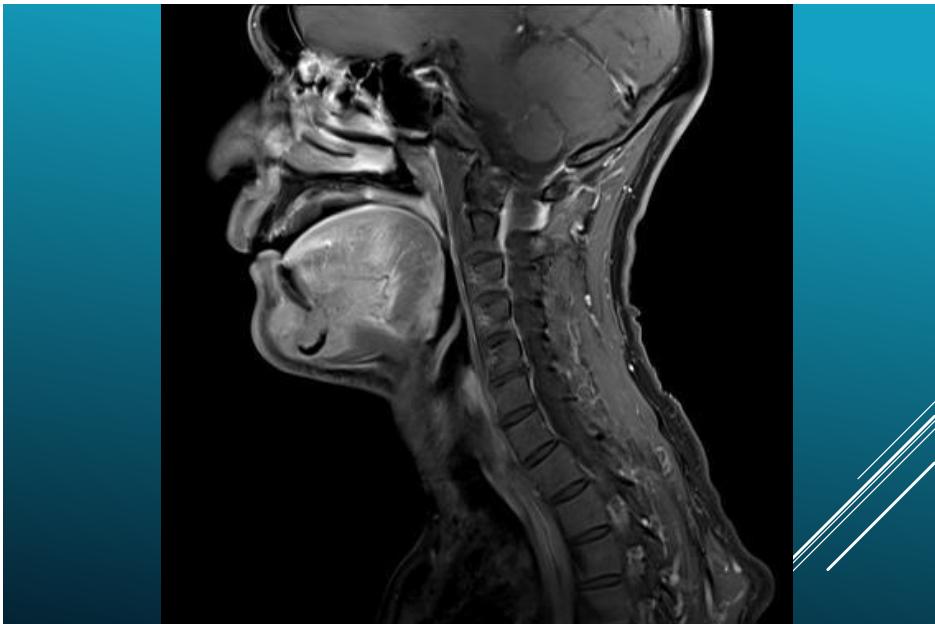
下顎歯肉がん症例 口腔底、舌、下顎、オトガイ皮膚
に広範に及ぶ



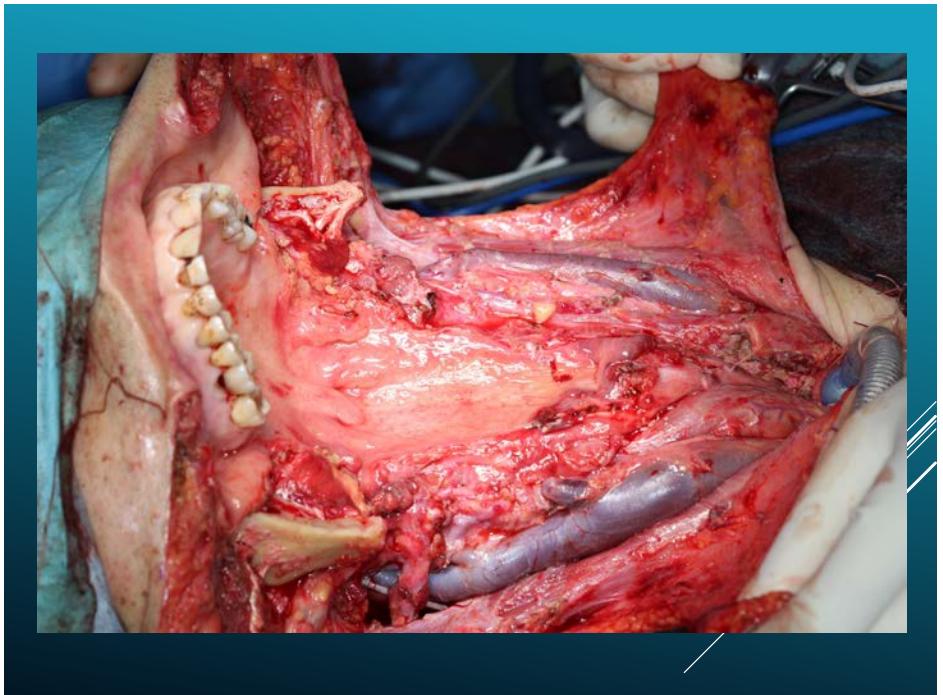
広範な下顎骨の吸収 右下4左下3が浮遊歯になっている。

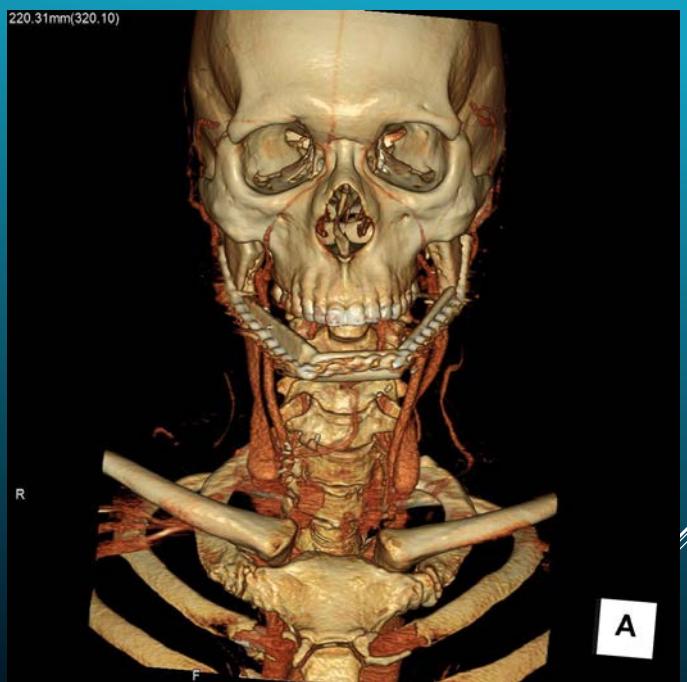
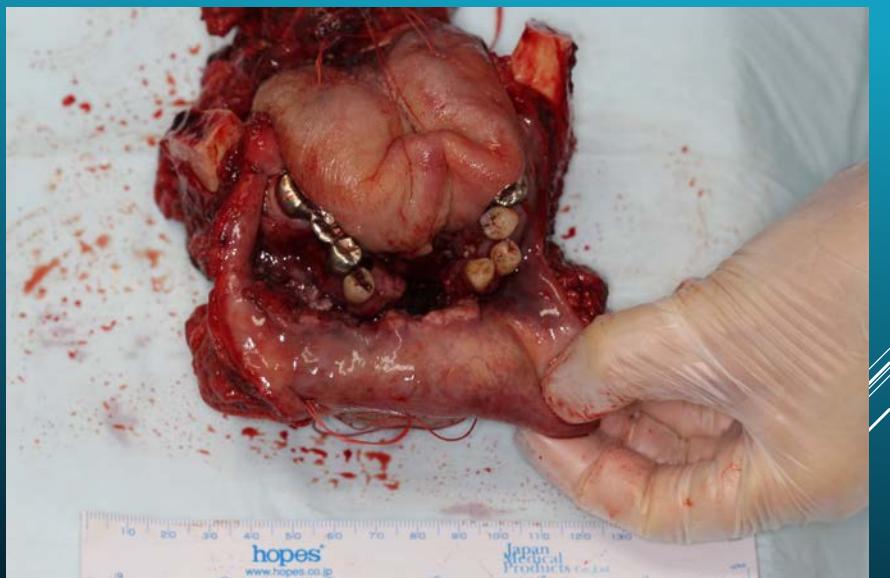


造影CT所見 広範囲の腫瘍浸潤



MRI 所見





広範囲な腫瘍浸潤に対するチーム医療

口腔外科・耳鼻科頭頸部外科・形成外科の
腫瘍内科の4科合同治療

摂食嚥下のリハビリ、将来的な顎補綴の必要性、
長期予後の観察、整容面での配慮

香川県内の5つのがん診療連携拠点病院

香川大学医学部附属病院

香川県立中央病院

高松赤十字病院

丸亀労災病院

三豊総合病院

香川県内の取り組み事項

啓発活動

- ・口腔がん検診
- ・各種広報活動

病診連携

- ・口腔がんスキルアップセミナー

病病連携

- ・診療レベルの向上
- ・患者紹介

香川での口腔がん検診結果

8020運動特別推進事業 ～口腔がん検診・成人歯科検診事業～

平成22年度	
受検者：	計156名
異常なし：	117名
異常あり：	39名
要精密検査	7名（うち1名が初期癌、4名が前癌変）

平成23年度	
受検者：	計369名
異常なし：	322名
異常あり：	47名
要精密検査	6名（前癌病変）

平成24年度	
受検者：	計222名
異常なし：	185名
異常あり：	13名
要精密検査	5名（前癌病変）



知っていますか？ 口の中にも「がん」ができることがあります



症状は？



チェック項目

- ① “けん引き”と思っているけど、口内炎がなかなか治らない（食べ物がしみる、痛い）
- ② 歯茎が急に紅腫した
- ③ 入れ歯がある
- ④ 急に歯がぐらつく
- ⑤ 「しこり」がある
- ⑥ 飲み込みにくい

このほかには、早く見つけた場合は100%近く治ります。
しかし、進行がんでは、たとえ治っても
食べ物がしみる、痛みがひどくなることがあります。
そのため、早期発見がとても大切です。

当てはまる項目があったら、
当院での診察時にお伝えください。



口腔がんの一般的な自覚症状

- ▶ 口腔がんの初期は痛みを感じることが少なく、少刺激物がしみる程度の場合が多い
- ▶ 口内炎のような症状がなかなか治らない
- ▶ 義歯が当たって痛む、義歯が合わなくなったり
- ▶ 物を飲み込む時に違和感がある
- ▶ 齒肉から出血したり腫れる、歯がぐらつく
- ▶ 口内の粘膜の色が変化している（赤、白、黒）
- ▶ 粘膜に潰瘍やしこりがある
- ▶ 口唇の周りが痺れる
- ▶ 顎の下のリンパ腺が腫れる

口腔がん予防のために

- ・いつも口の中を清潔に保つ
- ・虫歯や歯周病を放置せず治療する
- ・合わない義歯や適合の悪い冠を放置しない
- ・2週間以上治らない口内炎を放置しない
- ・喫煙や過度の飲酒は慎む
- ・極端に熱いものや辛い食品はひかえる
- ・偏食や不規則な生活習慣を改める
- ・毎日の歯磨き時に自己検診をする
- ・セミナーを受けた歯科医の定期健診を受ける
- ・地域での集団検診を受ける

